



羅針盤

自分で反省して立ち直る。そういう精神的な強さがなければ、受験では絶対に勝てない。

（ドラマ『ドラゴン桜』より）

変わる入試、今と昔

いよいよ夏休み。3年生にとっては勝負の夏休みが始まります。この20年ほどで高校受験に対する意識もずいぶん変わってきたように感じる一方で、自分の将来について、真剣に考える非常に大切な時期であるという点は変わりません。

今回は、近年の高校入試について「公立編」「私立編」に分けてお伝えします。



公立高校編

少子化の影響もあり、全体的な倍率は低下しています。特に、鹿児島学区以外の高校・学科では定員割れが生じております。一方、鹿児島学区では普通科の進学校をはじめ、かなり倍率の高い高校もまだまだたくさん存在し、厳しい競争が予想されます。自分の将来について真剣に考え、「自分が本当に行きたい高校」を選択する意識が求められています。

入試の平均点は247.1点であり、前年度より3.6点上がりましたが、国語の平均点は大きく下がりました。文章量の増加や資料の読み取りでの時間不足が原因と考えられます。

出題範囲はこれまでに学習した内容です。中学三年間での学習内容をしっかり定着させ、本番に臨みたいですね！

公立高校入試日は、令和6年3月5日（火）・6日（水）で、あと230日です。

【かごしま中央高等学院よりお知らせ】

中学生対象「高校入学準備・学習サポート講座」
期間：10/5～2/1 毎週木曜日14:00～16:00
内容：英語・数学・国語の3教科を中心に基礎内容の復習

私立高校編

就学支援金の影響もあり、公立高校の受検をせずに、私立高校進学を決める割合が年々増えています。

私立高校とか公立高校とかの区別はなくなり、「自分が本当に通いたい学校」を選ぶ傾向にあります。ですから、私立高校志望者が増えている分、私立高校入試は年々厳しくなっており、これまでほとんど不合格者のいなかった高校・学科でも、ここ数年で不合格者が出てきています。私立高校の合否結果は最終的な受検校決定に大きな影響を及ぼしますので、入試に向けて計画的な学習に取り組みしましょう。

私立高校の一般入試は、公立高校入試より1か月以上早く行われます。高校や学科により、5教科（国・社・数・理・英）3教科（国・数・英）と受験科目が違います。公立高校入試とは出題の傾向が異なる学校もあるので、過去問を解いておくことが入試対策につながります。

私立高校入試日は、令和6年1月22日（月）～28日（日）、私立高校入試まであと187日です。

《TOPICS》

鹿児島商業高校の学科再編

鹿児島商業高校の学科再編と共学化が決定致しました。

学科については、今までの商業科・情報処理科・国際経済科に代わり、下の3つの学科が新しく設置されます。

- ・ビジネスクリエイト科（3学級、120人）
- ・情報イノベーション科（3学級、120人）
- ・アスリートスポーツ科（1学級、40人）

また、共学化に伴い新制服となります。

三者相談

7月21日から三者相談が始まります。

進路について見通しをもち、充実した時間になってほしいと思います。育英財団奨学生に申し込む場合は三者相談時にお知らせください。